

# 【 目 次 】

I	施政方針に掲げた施策の成果の総括	1	～	21
II	令和2年度主要施策の成果に関する調べ	22	～	183

## 1 【保健・福祉・医療】

### (1) 多様な人々への支援について

01_ 我が事・丸ごと支え愛事業	22	(保健福祉課)
------------------	----	---------

02_ 地域福祉計画の策定	23	(保健福祉課)
---------------	----	---------

### (2) 医療・介護・福祉の連携による対象者への支援について

03_ 地域包括ケアシステムの構築	24	(保健福祉課)
-------------------	----	---------

04_ 高齢者の社会参加の促進と充実(1～4)	25～28	(保健福祉課)
-------------------------	-------	---------

### (3) 地域医療連携推進法人アンマによる医療・介護の拡充について

05_ 地域医療連携推進法人アンマとの連携	29	(保健福祉課)
-----------------------	----	---------

06_ へき地診療所の収支改善について	30	(保健福祉課)
---------------------	----	---------

### (4) 出産・子育ての支援の充実について

07_ 不妊治療や妊婦健診にかかる交通費等の助成(1～2)	31～32	(保健福祉課)
-------------------------------	-------	---------

08_ 妊婦健診の実施	33	(保健福祉課)
-------------	----	---------

09_ 産前・産後サポート(1～2)	34～35	(保健福祉課)
--------------------	-------	---------

10_ 子育て世代包括支援センターの設立	36	(保健福祉課)
----------------------	----	---------

11_ 保育所等の利用料無償化	37	(町民生活課)
-----------------	----	---------

12_ 地域型保育所等への補助	38	(町民生活課)
-----------------	----	---------

13_ 子ども医療費	39	(町民生活課)
------------	----	---------

14_ ひとり親医療費助成	40	(町民生活課)
---------------	----	---------

15_ 児童手当	41	(町民生活課)
----------	----	---------

16_ 出産祝金の支給	42	(町民生活課)
-------------	----	---------

17_ 小学校・古仁屋高校入学祝金	43	(町民生活課)
-------------------	----	---------

### (5) 医療・介護の地域格差の是正について

18_ ランデブーポイントの整備	44	(総務課)
------------------	----	-------

19_ 救急艇「おおとり」	45	(消防分署)
20_ ICTを活用した診療体制のネットワーク整備	46	(保健福祉課)
(6) 健康づくり活動の推進について		
21_ 各種検診の受診率向上について	47	(保健福祉課)
22_ 糖尿病重症化予防等の保健事業の取組	48	(保健福祉課)
23_ 保健事業と介護予防事業の一体的な実施	49	(保健福祉課)

## 2 【教育・文化】

(1) 次世代に向けた教育環境の整備について		
24_ 学校教育の情報化について	50	(教委総務課)
(2) 教育環境の整備充実について		
25_ 新給食センターの建設	51	(教委総務課)
26_ 学習環境の構築	52	(教委総務課)
27_ 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成(1~3)	53~55	(教委総務課)
28_ かけろま留学制度や与路小中学校留学里親制度(1~2)	56~57	(教委総務課)
29_ スクールバスの運行	58	(教委総務課)
30_ 学校存続委員会の設立	59	(教委総務課)
(3) 古仁屋高等学校の振興対策について		
31_ 古仁屋高校の活性化(1~5)	60~64	(企画課)
(4) さまざまな分野において学習できる環境づくりについて		
32_ 島口・伝統文化の継承の推進	65	(社会教育課)
33_ 「町民ひとり1スポーツ」の推進	66	(社会教育課)
34_ 幼少期からの読書活動の推進	67	(社会教育課)
35_ 埋蔵文化財や近代遺跡の調査に関すること	68	(社会教育課)
36_ 社会教育関係団体の更なる充実と活性化(1~2)	69~70	(社会教育課)
37_ 生涯学習リーダーの育成	71	(社会教育課)
(5) 清水運動公園の整備について		
38_ 清水運動公園の整備について	72	(社会教育課)

(1) 危険家屋・空き家・空き地、住宅への取組の対策強化について		
39_ 地域提案型事業（空家利活用事業）	73	（企画課）
40_ 公営住宅の整備	74	（建設課）
41_ 老朽危険家屋等の対策	75	（企画課）
(2) 生活排水処理対策について		
42_ 合併処理浄化槽の普及促進	76	（町民生活課）
43_ コミュニティプラント等の整備	77	（町民生活課）
44_ 農業集落排水処理施設	78	（農林課）
(3) 多機関連携による生活安全対策強化について		
45_ 町営船「せとなみ」の代替船建造	79	（商工交通課）
46_ 簡易水道事業と上水道事業の経営統合	80	（水道課）
47_ 簡易水道事業の経営の効率化	81	（水道課）
48_ 水質管理の徹底	82	（水道課）
49_ 交通安全	83	（総務課）
50_ 防犯対策	84	（総務課）
(4) 地域防災力の強化について		
51_ 急傾斜地崩壊対策	85	（建設課）
52_ 土石流防止対策	86	（建設課）
53_ 海岸高潮対策	87	（建設課）
54_ 治山	88	（建設課）
55_ 戸別受信機整備事業	89	（総務課）
(5) 世界自然遺産登録や登録後の普及・啓発活動の実施について		
56_ 世界自然遺産登録の推進	90	（水産観光課）
57_ サンゴ礁保全対策(1～2)	91～92	（水産観光課）
(6) 地球温暖化対策（循環型社会：ゼロエミッション）について		
58_ 温室効果ガスの排出量の削減について	93	（水産観光課）

## 4. 【産業】

### (1) 新たな産業の誘致・起業支援について

59_ 企業誘致	94	(企画課)
60_ 起業家支援補助金の活用	95	(企画課)
61_ 瀬戸内IT BASE の支援	96	(企画課)
62_ 廃校活用の推進	97	(企画課)

### (2) 農林水産業の振興について

63_ 農地集積について	98	(農林課)
64_ 儲かる農業について(1~10)	99~108	(農林課)
65_ さとうきびについて	109	(農林課)
66_ 担い手の育成(1~2)	110~111	(農林課)
67_ 林業について(1~5)	112~116	(農林課)
68_ 漁業について(1~5)	117~121	(水産観光課)
69_ 畜産農家の規模拡大	122	(農林課)
70_ 農林水産物の輸送費用支援(1~4)	123~126	(農林課・水産観光課)

### (3) 商店街の活性化について

71_ 域内消費喚起の促進	127	(商工交通課)
72_ 消費者対策	128	(商工交通課)
73_ 特産品の販路拡大	129	(商工交通課)
74_ キャッシュレス決済の導入	130	(商工交通課)
75_ 町内商工業の育成振興や経営の安定(1~3)	131~133	(商工交通課)

### (4) 観光をあらゆる産業へ波及させるための仕組みづくりについて

76_ 「奄美らしい滞在型・着地型事業」	134	(企画課)
77_ 本町の観光振興(1~2)	135~136	(水産観光課)
78_ 観光イベント	137	(水産観光課)

### (5) 持続可能な世界基準の観光地づくりについて

79_ 観光施設の整備(1~2)	138~139	(水産観光課)
------------------	---------	---------

80_ 観光の広域連携	140	(水産観光課)
-------------	-----	---------

## 5 【地域自治・地域連携】

### (1) 相談できる環境づくりについて

81_ 「島の保健室」事業の拡充	141	(保健福祉課)
82_ 集落活性化(移住・定住)(1~2)	142~143	(企画課)
83_ 地域おこし協力隊	144	(企画課)
84_ 地域提案型事業(住民参加型事業)	145	(企画課)
85_ 消防団組織の強化と活性化(1~2)	146~147	(消防分署)

### (2) 共存共栄のまちづくりについて

86_ 自衛隊との連携	148	(総務課)
-------------	-----	-------

### (3) グローバルな連携の構築について

87_ 「チームせとうち」としての連携強化	149	(総務課)
88_ 大学等と連携した特産品開発や地域振興(1~2)	150~151	(企画課・農林課)
89_ ふるさと納税	152	(農林課)
90_ 企業版ふるさと納税	153	(企画課)
91_ SDGs社会の実現に向けた取組の推進	154	(企画課)

## 6 【男女共同参画(ジェンダー平等)】

### (1) 固定的な役割分担意識の解消について

92_ 男女共同参画事業	155	(企画課)
--------------	-----	-------

### (2) DV(ドメスティック・バイオレンス)対策について

93_ DV対策(1~2)	156~157	(保健福祉課・企画課)
---------------	---------	-------------

### (3) 女性活躍社会の実現について

94_ 女性活躍社会の実現	158	(総務課)
---------------	-----	-------

### (4) 男女が共に仕事と家庭の調和がとれる生活の実現について

95_ ワーク・ライフ・バランスの取組推進	159	(総務課)
-----------------------	-----	-------

## 7 【行財政】

### (1) 職員の意識改革、事務量の見直し、組織再編について

96_ 職員の意識改革	160	(総務課)
97_ 事務量の見直し	161	(総務課)
98_ 組織再編	162	(総務課)

(2) 情報発信の強化について

99_ 広報誌の内容充実	163	(企画課)
100_ FM放送局の運営の見直し	164	(企画課)

(3) 行政サービスにおける住民負担の軽減について

101_ 加計呂麻島ターミナル施設	165	(水産観光課)
102_ 加計呂麻島光ブロードバンドの整備	166	(企画課)
103_ フェリーかけろまの運賃割引	167	(商工交通課)
104_ 特定離島ふるさとおこし推進事業の活用	168	(企画課)

(4) 各種計画に基づいた公共施設の整備について

105_ 道路の整備(1~5)	169~173	(建設課)
106_ 林道の整備	174	(建設課)
107_ 港湾の整備	175	(水産観光課)
108_ 漁港の整備(1~3)	176~178	(水産観光課)
109_ 地籍調査事業	179	(財産管理課)

(5) 既存の財源の増加対策と新たな財源の確保について

110_ 財源の確保について	180	(総務課)
111_ 町有財産の有効活用	181	(財産管理課)

(6) 地方創生と財政健全化をバランスよく推進できる持続可能な行財政運営について

112_ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定	182	(企画課)
113_ 持続可能な財政運営	183	(総務課)

Ⅲ 令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した 施策の成果について	184 ~ 227	
--	-----------	--

## I. 令和2年度施政方針に掲げた施策の成果の総括

令和2年度、世界中で「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るい、わが国の経済産業においても2020年東京オリンピック・パラリンピックの延期や、緊急事態宣言・まん延防止対策の発令による人流の制限などにより、多方面にわたって深刻な影響を及ぼしました。

収束の見えない「新型コロナウイルス感染症」対策として“新たな働き方・新たな生活スタイル”への変容など、国民一丸となって感染症予防対策に取り組むことが推進されてきました。

そのような中、本町においては、第5次瀬戸内町長期振興計画に基づき、多様なニーズへの対応に向けた環境構築や、それを支える住民の福祉充実、更にはアフターコロナを見据えた取組など、「人が輝く夢と希望に満ちた魅力あるシマ」を実現するため、各施策を実施してまいりました。

以下、施政方針に掲げた基本施策とともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した施策について、ご説明いたします。

### ◎保健・福祉・医療

#### 1. 多様な人々への支援について

高齢者や障害者、生活困窮者、子育て世帯等において、多様化・複合化する生活上の困り事や地域課題の解決を図り、誰もが生きがいを持ってつながり合える「地域共生社会」の実現に向けて、関係機関とも連携し「我が事・丸ごと」支え愛事業に取り組みました。

また、障害福祉計画や老人福祉計画及び介護保険事業計画の見直

しを実施しました。

## 2. 医療・介護・福祉の連携による対象者への支援について

認知症高齢者を含め、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けられるよう、医療・介護・福祉の連携による「地域包括ケアシステム」の構築に取り組み、地域で気づき、つなぎ、支え合う、生活支援体制の整備に努めました。また、老人クラブやシルバー人材センター等の各種団体とも連携し、高齢者の社会参加の促進と充実を図りました。

## 3. 地域医療連携推進法人アンマによる医療・介護の拡充について

地域医療連携推進法人アンマと連携し、地域における医療資源の確保や有効活用、救急体制の整備や無医地区における医療体制の確保に努めました。また、経営改善計画・施設延命計画を実施し、今後のへき地診療所の方針を定めました。

## 4. 出産・子育て支援の充実について

安全で安心して妊娠・出産ができる環境整備に向けて、不妊治療や妊婦健診にかかる交通費等の助成に加え、拠点病院とも連携し、専門医による妊婦健診を実施しました。また、産前・産後にかかる母子保健事業の充実を図るとともに、妊娠期から子育て期に至る子育て支援について、切れ目のない一貫した支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を設立しました。

出産・子育て支援策として保育所等の利用料無償化、地域型保育所等への補助、子ども医療費の助成、ひとり親医療費助成、児童手当、出産祝金の支給を行い、産み育て易い環境づくりに努めました。



また、令和２年度から新たに実施した「小学校入学祝金」は７１名分、「古仁屋高校入学祝金」は２５名分を支給しました。

#### ５．医療・介護の地域格差の是正について

奄美ドクターヘリの安全運航と救急患者の救命率向上を図るため、ランデブーポイントが未整備地区である西阿室集落の用地等の調査・検討を実施し、関係機関へランデブーポイント指定へ向けた申請を行いました。

また、新たに建造した救急艇「おおとり」については、救急資機材として除細動器付心電図モニター、吸引機を整備しました。船内での救急活動時に、心疾患や窒息など一刻を争う傷病者に対して、迅速かつ的確な観察、処置、評価が可能となり、適切な搬送先病院選定に繋げることで、救命効果また後遺症軽減への効果増大が図られました。

地域間の医療・介護の格差の是正に向けて、遠隔診療等の ICT を活用した診療体制のネットワーク整備や地域住民間の連携を図り、安心して生活できる地域づくりに努めました。

#### ６．健康づくり活動の推進について

健康寿命の延伸と生活の質の向上を図るため、各種検診の受診率を高めるとともに、糖尿病重症化予防対策等の保健事業を実施し、一人ひとりが健康を意識し、生活改善に努め、地域ぐるみで支えあえる健康なまちづくりを推進しました。

また、後期高齢者についても、健康課題を分析した上で、保健事業と介護予防事業の一体的な実施によるフレイル対策や疾病予防・重症化予防の実施に向けて基本的方針及び実施計画等を作成しまし

た。

## ◎教育・文化

### 1. 次世代に向けた教育環境の整備について

グローバル化・多様化・複雑化する社会において、児童生徒たちに未来の創り手としての創造性を育む教育を実現するために国の進める「GIGAスクール構想」の推進に向けて、高速通信ネットワーク環境を整備し、児童生徒にパソコン1台を配置することで、個別最適な学びの実現に向けてICT環境の整備を行いました。また、ICT支援員を配置し、円滑な実施に向けての支援体制づくりに取り組みました。

グローバル化する社会を生きるために必要な資質や能力を養うため、ALT（英語指導助手）2名を配置し、町内各校における授業への積極的な派遣やイングリッシュ・デイ・キャンプの実施等により、国際理解教育や異文化交流の充実に取り組みました。

### 2. 教育環境の整備充実について

児童生徒の安全・安心な給食の提供、食育の実施に向けて、新給食センター建設にかかる実施設計を行いました。令和3年度に着工し、令和4年度中の完成に向けて取り組んで参ります。

学校施設の整備については、老朽化する学校教育施設の計画的かつ効率的な改修や建替えに向けて、「学校施設等長寿命化計画」を策定しました。

教育環境については、新学習指導要領に基づき児童生徒の学力向上を目指して、指導主事2名体制による派遣回数増加等による教師の指導力向上や習熟を図る取組みの充実に努め、「せとうち授業づ

くりガイド」を基にした研修の実施や演習問題の提示・見届けのほか、学力向上対策会議の実施に取り組みました。また、幼・小・中・高の連携及び交流、地域人材を積極的に活用した学習の推進に取り組みました。

幼児教育については、幼稚園と家庭との連携のもと、幼児にふさわしい心身ともに健やかな「生きる力の基礎」を培うことに努めるとともに、郷土文化に触れる機会を創出するため島唄教室を実施しました。

「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒を育成するために、キャリア教育の視点に立った教育活動の推進、地域の人材・自然・文化等を活かした感動ある体験活動の充実のほか、進んであいさつしたり、奉仕活動に取り組む児童生徒の育成に努めました。

児童生徒の減少対策に向けて、「にほんの里・かけろま留学制度」や「与路小中学校留学里親制度」の推進に取り組むとともに、実久地区の児童生徒の通学負担の軽減と加計呂麻地区の学習充実のためにスクールバスの運行を実施しました。

### 3. 古仁屋高等学校の振興対策について

令和2年4月に、女子寮（清雲寮）が開寮し、7名の女子生徒が新たな寮で生活をスタートすることが出来ました。地元中学生の古仁屋高校への進学率は、前年度39.7%から5.1%の上昇となる44.8%となりました。「地域みらい留学生」についても男子5名、女子5名、合計10名の受け入れを行いました。

### 4. さまざまな分野において学習できる環境づくりについて

島口・伝統文化の継承の推進については、学校教育や地区子ども会、地域の伝承者の協力をいただきながら、島口・伝統文化に触れる機会の確保に努めました。

また、町民のスポーツに対する多様なニーズに対応するため、生涯スポーツの振興に努め、「町民ひとり1スポーツ」を推進し、「せとうち満天クラブ」を実施し健康推進や生涯スポーツの充実を図りました。

生涯にわたり自ら学び考える人格の育成のため、幼少期から本に親しむことが出来るよう「ブックスタート事業」や「子ども読書フェスタ」等を実施しました。

瀬戸内町内の埋蔵文化財（近代遺跡）については、国庫補助事業を活用して調査を行いました。調査で得られた資料及び成果は、瀬戸内町埋蔵文化財センターにて整理を行い保管しています。また、調査成果を郷土教育や観光案内板・遺跡マップ等の作成に使用し、町民や観光客に対して広く情報提供を行いました。

社会教育関係団体等の更なる充実と活性化、また、参加者・関係者の連携や共通理解を深めるため、組織運営等に必要な知識・技術に関する研修を行いました。更に、活力ある地域づくりのために、自ら主体的に取り組む指導者等の養成に努めてまいりました。

## 5. 清水運動公園の整備について

清水公園の整備については、『新たなにぎわい』と『豊かな文化・スポーツライフ』を創出する施設整備を進めるため、幅広い観点から検討を図っており、基本構想につきましても、町民のご意見を反映させるためパブリックコメントを実施し、お寄せいただいたご意見を参考に策定しました。

## ◎生活環境

1. 危険家屋・空き家・空き地、住宅への取組の対策強化について  
集落への定住促進と地域の活性化を図るため、地域提案型事業の「空き家利活用事業」として、瀬武集落・薩川集落・池地集落の3地区において事業を実施しました。平成30年度から事業を開始し、これまで合計8件の事業活用実績があり、すべての住宅で入居者の確保がなされるなど、事業目的に資する取組が実施されております。

既存の公営住宅については、「瀬戸内町公営住宅等長寿命化計画」に基づいて、日常的な保全点検や計画修繕等の個別改善事業を実施し、公営住宅の整備を推進するため、「公営住宅ストック総合改善事業」により、高丘団地ろの6号棟外壁改修工事を実施し、公営住宅の長寿命化を図りました。

老朽危険家屋対策については、2件（嘉鉄集落、市街地）の除去を実施しました。うち、市街地の跡地利用については、市街地における駐車場確保対策として、地域包括連携協定を結んでいる株式会社ファーストの協力の下、コインパーキング（最大利用可能台数9台）を設置しました。

## 2. 生活排水処理対策について

合併処理浄化槽については、16基の整備を行いました。うち5基分は宅内配管の対象でありました。前年度と比較して汚水処理普及率が1.16%向上しました。

コミュニティプラント整備を含む全体計画については、令和2年度に行なった生活排水処理の基礎調査を基に、令和3年度に瀬戸内町生活排水処理基本計画を策定いたします。

また農業集落排水処理施設については、施設の設計積算委託によ

る情報を基に老朽化した設備の更新を行いました。

### 3. 多機関連携による生活安全対策強化について

町営船「せとなみ」の代替船建造については、令和5年度の新造船整備着手を目指し、令和2年度におきまして、三点航路（与路島、請島、伊子茂）の説明会とアンケート調査を実施しました。

今後、国県と組織する航路対策協議会において協議を重ね、進捗を図って参ります。

本島側簡易水道事業については上水道事業へと経営統合を行い、経営基盤の強化を図りました。

請島においては老朽化した施設の更新、及び経営効率の向上を図るべく池地地区簡易水道、請阿室地区簡易水道の2施設の統合事業を行っております。また、特定離島ふるさとおこし推進事業により、渡連地区の管理道路の整備を行いました。

交通安全対策については、古仁屋市街地の劣化した河川沿いの転落防止柵及び交差点への歩道分離標の設置を行い、生活道路・通学路における歩行者等の安全確保に努めました。また、防犯対策として、夜間における犯罪等の未然防止と青少年健全育成等を目的に町内17地区(48箇所)に設置したLED防犯灯設置費用の一部を助成しました。

### 4. 地域防災力の強化について

近年の大規模な自然災害から、町民の生命・財産を守るため、土砂災害危険対策として、県事業15箇所、町事業2箇所を実施しました。

治山は、林業の生産基盤である林地を保全すると同時に、山崩れ

などの災害を未然に防止することから、林業振興と国土保全のため県と協力し事業の推進に努めて参ります。

防災行政無線戸別受信機整備事業については、戸別受信機の全戸配備を行うために必要な実施設計業務（電波伝搬調査・現地調査）を行いました。

#### 5. 世界自然遺産登録や登録後の普及・啓発活動の実施について

世界自然遺産登録については、国県並びに関係市町村、団体と連携・協力し、令和3年夏の登録へ向けた取組として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「持続可能な自然環境形成事業」での外来種分布調査や外来種駆除及び外来種対策の研修会の実施、また「子ども世界自然遺産博士講座（年7回）」を実施し、希少種の保護、ロードキル対策、バードウォッチングなど、子ども達が学ぶ機会の創出に努めました。

希少野生動植物の保護については、年間を通じた保護パトロールや夜間パトロールの実施、また、本島側や加計呂麻島・請島において監視カメラを設置し自然公園等のモニタリングを実施しました。

サンゴ礁保全対策については、サンゴ重点保護海域を設定し、年間を通してオニヒトデやシロレイシガイを駆除するとともに定期的なサンゴ礁のモニタリングを実施したことで、サンゴを保全することができ、サンゴ幼生の供給源となりました。

#### 6. 地球温暖化対策（循環型社会：ゼロエミッション）について

地球温暖化対策（循環型社会：ゼロエミッション）について「瀬戸内町地球温暖化対策実行計画」に沿って実施状況の検証を行ないました。ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPGについてはCO<sub>2</sub>排出

量の減少が確認できましたが、電気に関してはCO<sub>2</sub>排出量が増加傾向であります。主な要因としては、基準年度である2013年度には無かった、新規施設の電気量の増加と考えられます。

また、脱炭素社会の実現に向けた取組として、大島海峡内5カ所で藻場造成の実証実験を官民連携で行いました。

## ◎産業

### 1. 新たな産業の誘致・起業支援について

企業誘致については、コロナ禍において、都市圏の企業が本社機能等を地方へ移転する動きが顕著化している中、本町もワーケーション施設等の整備を進めており、新たな産業の創出に向けた推進体制が加速し始めました。また、起業家支援としては、瀬戸内町商工会から経営指導を受けながら、本町内の起業家の起業支援を3件行いました。

コワーキングスペース「瀬戸内IT BASE」については、産業創出と人材育成の拠点となる施設を目指し推進してきました。

廃校活用としては、久慈小中学校跡地の活用を目的に、農泊の推進及び特産品づくりを行うため、集落へ助言及び協力し国の補助事業を申請しました。

### 2. 農林水産業の振興について

農業については栽培面積や生産量の拡大を図るため、農地中間管理機構等において担い手への農地集積を積極的に推進しました。また、各種補助事業を導入し、営農用ハウスの整備や省力化機械の導入、樹園地の造成、有望品種への改植及び新植を図るとともに、関係機関と連動した研修会等の実施により栽培技術の底上げ等に努め



ました。

さとうきびについては、2品種の優良種苗の原苗圃を設置し、今後は、計画的な種苗の供給を図ることで生産性の向上に努めて参ります。また、加計呂麻島きび酢村計画については、関係各課及び奄美・せとうち地域公社と連携し、用地確保と基本計画作成等の推進に努めました。

就農希望者や新規就農者の育成確保については、研修施設の補修等により営農支援センターへの受け入れはありませんでしたが、支援センターを退所した新規の就農者や集落の中心的経営体としての担い手に対してのサポート体制の強化と農地の流動化を図りました。

林業については、水源林造成事業（阿木名地内）の除伐を3.31ha実施しました。

漁業については、人材育成・後継者の確保・定着を図るため、漁船・漁具等のリースの取り組みを支援し、また、漁業の再生に向けて取り組んでいる漁業集落への支援を行い、大切な地域資源である漁場の生産力向上や漁場の管理・改善、産卵・育成場の整備などを行うことで新たな資源の確保がなされました。更に、出荷管理のために冷凍冷蔵庫を整備したことにより、餌の安定供給、未利用魚や加工品の保管スペースが確保され、漁業者の所得向上や経営安定化に繋がり、生産・産業振興の促進が図られました。

畜産農家の規模拡大対策については、家畜飼養管理のICT化を推進し、分娩監視装置や発情発見装置の導入支援を行い、労働力の負担軽減に努めました。

また、新規就農者の発掘・育成のため、畜産の情報・魅力を発信する「牛飼塾」を開催しました。更に、座学と平行して実践研修が実施できる体制を整備推進しました。

農林水産物の本土への出荷にかかる輸送費用を“農林水産物輸送コスト支援事業”において支援し、農家・漁家等の負担軽減に取り組みました。

### 3. 商店街の活性化について

町内の域内消費喚起の促進につきましては、新型コロナウイルスの影響により収入減少等を余儀なくされている瀬戸内町民への生活支援と地域の経済活性化を図ることを目的に、瀬戸内町民全員を対象とした一人5千円のクーポンの発行、併せて、プレミアム率を当初予定の10%から50%へと上乗せした商品券の販売を行いました。

消費者対策につきましては、町ホームページや広報紙及び、せとうち出前講座において、注意喚起・情報共有等を実施しました。

活気ある商店街の推進を目的とした、空き店舗の利活用については、シルバータウン春日の1F部分を借用し、インターネット環境を整備するなど、町外の企業がサテライトオフィスとして利用できる環境整備を実施しました。

特産品の販路拡大については、コロナ禍により、予定していた物産展等の開催が中止となりましたが、特産品の魅力PRとして「瀬戸内町大島紬技能者養成所」動画広告を作成し、You tubeにて公開しました。

キャッシュレス決済の導入につきましては、商工会による講座の開催や個別相談等を行っておりますので、今後とも連携協力し推進を図って参ります。

町内商工業の経営安定等の対策として、瀬戸内町商工会に加入している商工業者が、設備資金及び運転資金として借り入れた制度資金を対象に利子補給し、町内商工業の育成及び振興を図りました。

#### 4. 観光をあらゆる産業へ波及させるための仕組みづくりについて

消費拡大や地域経済の発展に資する取組として、成長戦略推進交付金を活用し「奄美らしい着地型・滞在型事業」を実施しました。観光客に向けたプレミアム利用券(プレミアム率20%)を販売するとともに、購入者にアンケートを実施し、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップにも結びました。

屋久島や琉球諸島との連携については、平成30年度に奄美、屋久島の6市町村でまち歩き連絡協議会を設立し、これまでに資源調査や意見交換会を実施しておりましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、1回のみ活動にとどまりました。

ブルーツーリズムの推進については、「瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業」の一環として、せとうち海を守る会と連携し、海の保全活動を目的に海中清掃事業を実施しました。「美しい海と島」をベースに、今後の観光誘客や地域の活性化につながるよう、観光資源の保護を行いながら持続可能な観光地づくりを推進して参ります。

遺跡の案内・説明看板については、令和2年度中に新設、修繕は行っておりませんが、今後、奄美大島5市町村で歴史浪漫探訪ルートを作成し、久慈白糖工場跡・久慈水溜跡に解説看板を設置予定としております。

「奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会」・「加計呂麻島ハーフマラソン」等の観光イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。同様に観光・イベントPR活動についても、県内でのPRにとどまり、大々的なPRは未実施となりました。

## 5. 持続可能な世界基準の観光地づくりについて

観光施設については、奄美群島成長戦略推進交付金を活用して、芝地区にトイレ・シャワー施設の新設を行いました。また、特定離島ふるさとおこし推進事業により、池地地区のクンマ海岸の歩道の補修等の整備を行いました。

## ◎地域自治・地域連携

### 1. 相談できる環境づくりについて

多様化・複合化する生活上の困り事や地域課題に対し、断らない相談支援を心がけ、関係機関とも連携し解決にあたる「我が事・丸ごと」支え愛事業に取り組みました。また、安心して生活できる地域づくりを目指し、相談支援包括化推進員を中心とした「島の保健室」事業の拡充を図り、役場の窓口業務の一部を担う「出張所」機能を開始するとともに、地域おこし協力隊と連携し、各集落の維持・活性化に取り組みました。

### 2. 集落の活性化について

集落の活性化については、集落の自助意識による地域づくりへの支援として、地域提案型事業の「空き家利活用事業」及び「住民参加型事業」の実施、また、移住体験住宅の利用促進を図り定住者の確保などに努めましたが、コロナウイルス感染拡大防止対策のため、集落等から提出された提案事業の中止や、定住促進住宅の利用制限などをやむを得なく実施しました。

地域の安全・安心の担い手である消防団の新入団員の募集活動については、FMラジオ、チラシによる広報を実施しました。

女性消防団員による高齢者宅訪問による火災予防啓発活動は、新

型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、訪問計画を中止しました。

火災予防の推進については、容量 2,500 リットルのパネル水槽を節子地区へ配備し、山郷地区における火災時において、消火活動、延焼防止活動に消防力の向上を図りました。これにより、パネル水槽は、古仁屋地区、節子、久慈、諸鈍、薩川、請阿室、与路と町内各地に整備されました。また、災害時における消防団の活動時に安全でより効果的な救助活動を図るため、救助用資機材として、救命胴衣 60 着、切創防止用保護衣 3 着を整備し、台風や大雨時の消防団員の活動時の安全性を向上させ、チェーンソー等を用いた活動において、事故防止の観点から安全で、より効果的な救助活動を実施することが可能となりました。

### 3. 共存共栄のまちづくりについて

自衛隊との連携については、出水期において連絡調整等を密に行いながら、警戒体制の強化を図りました。

海上自衛隊の拡充については、引き続き、関係機関への要望活動を積極的に取り組んで参ります。

### 4. グローバルな連携の構築について

全国の郷友会においては、新型コロナウイルス感染症の影響により総会等が中止となったため、関西瀬戸内会役員との意見交換会のみ参加となりました。

農業分野においては、包括連携協定を締結している近畿大学との情報共有を随時行うとともに、本町の優れた地域資源等を活用した新特産品の開発へ向けた取組を実施しました。

ふるさと納税については、委託先である奄美・せとうち地域公社と連携し、返礼品の掘り起こしやPR活動等に取り組めました。

SDGs 社会の実現へ向けた意識醸成のための取組として、各種シンポジウムやセミナーなどを官民連携で開催しました。また、低炭素社会の実現へ向けた取組として、豊かな海洋資源を活用したブルーエコノミーや、カーボンオフセット制度の導入へ向けた藻場育成の施策展開を図りました。

### ◎男女共同参画(ジェンダー平等)

1. 固定的な役割分担意識の解消について
2. DV(ドメスティック・バイオレンス)対策について
3. 女性活躍推進社会の実現について
4. 男女が共に仕事と家庭の調和がとれる生活の実現について

男女共同参画社会の実現へ向けた取組として、町広報誌での隔月の周知記事の掲載、固定的役割分担意識やDV被害者など、困難を抱える女性に対する“暮らし・しごとサポート研修会”の実施、また住宅確保要配慮者への支援体制の整備として「居住支援協議会」の立ち上げへ向けた検討部会など、多くの課をまたいだ“横のつながり”を意識した取組を実施することができました。

また、町役場において、働きやすい環境づくりとして、「瀬戸内町職員のハラスメントの防止に関する規程」を制定し、ハラスメント防止研修を実施し、さらに、女性職員のスキルアップのための女性職員研修の実施及び課長補佐・係長の各役職段階における女性職員増加に向け、環境省及び奄美群島広域事務組合への女性職員出向により女性職員キャリア形成を支援しました。

また、職員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を

図る取組として、育児に関連した行事への参加を促すなど年次休暇を積極的に取得させるよう努めました。

## ◎行財政

### 1. 職員の意識改革、事務量の見直し、組織再編について

職員の意識改革については、職員の能力を高めるための「職員研修」として、「人事評価研修」や「これからのまちづくり提案研修」等59種類の研修を実施しました(延べ722名受講)。また、人を育てる「環境整備」として、人事評価を人材育成ツールとして活用推進するために人事評価システムを導入しました。そして、職員の能力を最大限に引き出すための「人事管理」として、人事評価結果を活用し、職員のモチベーション向上に繋げ、職員の意識改革に努めました。

事務量の見直しについては、超過勤務時間短縮のために課局内において事務の平準化を実施及び「瀬戸内町の組織及び事務分掌に関する規則」の一部改正による事務事業の見直し等を実施しました。

組織再編については、交通政策問題及び世界自然遺産登録への対応等のため、令和3年1月1日付けで組織再編及び事務移管を行いました。

### 2. 情報発信の強化について

町広報紙及び町ホームページについては、町政情報及び町が主催するイベント等の情報をはじめ、行政情報の掘り起こしをおこない広報紙発行規程に基づいた内容を掲載するなど、内容の充実を図りました。

町 SNS については、その特性を活かし積極的な行政情報の発信を

図ることができました。

コミュニティFM放送局については、制度上に照らした運営を図るため、令和2年10月にコミュニティFM放送局の運営事業者を公募し、新しい運営体制が整いました。

### 3. 行政サービスにおける住民負担の軽減について

瀬相集落における船舶待合所の建て替えに伴う新たなターミナル施設については、地域住民や船舶利用者等の利便性、快適性の寄与に加えて、『観光・物流・交流』機能を備えた加計呂麻島の拠点施設として位置づけ、賑わいエリアの創出による島内の魅力発信の強化と物流拠点、並びに住民サービスの充実による島民生活の安定と活力ある地域環境形成の再興を図り、人口流出の抑制と定住促進による移住者の増加に繋げることを目的として、令和2年度は、事業実施に向けたスケジュールなどの調整に着手しました。

加計呂麻島光ブロードバンド整備については、国の交付金を活用し、前倒しで鎮西地区の押角、勝能、諸数、生間、渡連、安脚場、諸鈍集落における光ブロードバンド情報基盤を整備し、各世帯で光サービスが利用できる環境を構築しました。令和3年度は、整備計画に基づき未整備地区の光ブロードバンド情報基盤を整備し、加計呂麻島全域の各世帯で光サービスが利用できる環境を構築する予定としております。

加計呂麻島に居住している町民の方の負担軽減対策として、引き続き「フェリーかけろま」の運賃割引を実施して参ります。

加計呂麻島・請島・与路島の「産業の振興」及び「生活基盤の整備」として、特定離島ふるさとおこし推進事業を活用し、合計14事業を実施しました。必要性や緊急性の高い事業を実施し、いずれ



も住民生活の改善に資する事業となりました。

#### 4. 各種計画に基づいた公共施設の整備について

地域住民や観光客が安全に安心して利用できる道路空間を確保するため、道路の整備については、県事業として県道名瀬瀬戸内線、曾津高崎線及び安脚場実久線の改良工事を実施し、町の事業としては、町道阿木名伊須蘇刈線、薩川実久線、秋徳佐知克線の道路改良事業を実施しました。

また、令和3年度から事業着手に向け検討を進めている陸上自衛隊瀬戸内分屯地周辺の道路整備について、令和2年度にルート選定し環境調査を実施しました。

道路斜面崩壊対策としては、町道嘉入阿多地線、諸鈍徳浜線の災害防除事業を実施し、於斉諸鈍線の斜面对策が完了しました。

道路施設の老朽化対策としては、町道の橋梁補修を実施しました。

林道の整備については、森林資源の有効利用の向上を図り、森林の適正な管理・地域産業の振興と住民の生活向上の推進を目指し、農山漁村地域整備交付金事業で、勝浦東線及び古志線の舗装事業、また、県代行による嘉徳青久線の改良整備、県単林道事業で林道西阿室嘉入線の舗装工事を実施しました。

港湾の整備については、加計呂麻島内における社会資本整備に必要な建設資材等の安定供給を確保するため、俵地区において建設資材専用岸壁を整備しました。

漁港の整備については、漁港施設の機能保全計画に基づき、水産基盤機能保全事業及び特定離島ふるさとおこし推進事業を活用し、老朽化が著しい、花天漁港、久慈漁港、芝漁港の施設を修繕しました。

県が管理している港湾・漁港については、施設の延命化及び地震・波浪等に対する施設の機能強化や海岸堤防等の老朽化対策を実施しております。

地籍調査事業は、道路整備事業に伴い、久慈・花天・於齊の各一部、砂防事業に伴い、西阿室の一部、海岸侵食対策事業に伴い、嘉徳の一部において実施しました。これにより、「公共事業の効率化及びコスト縮減」「災害時の復旧の迅速化」等の効果が発揮されることが期待できます。

#### 5. 既存の財源の増加対策と新たな財源の確保について

令和2年度においては、地方創生臨時交付金と奄振交付金等を合わせた事業の展開により一般財源を確保し基金への積立てを行いました。

町有財産については、町有未利用地の一部を、駐車場として整備（一般車両14台が利用可能）し、近隣の法人及び個人との賃貸契約を締結、財源確保に繋げることが出来ました。

#### 6. 地方創生と財政健全化をバランスよく推進できる持続可能な行財政運営について

地方創生の推進については、令和2～6年度を計画期間とした「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和2年8月に策定しました。策定においては、策定委員会の開催やパブリックコメントの実施により、民間からの多くの意見を反映させることができました。

今後もPDCAサイクルの実施による効果的・効率的な事業展開や、定期的な住民アンケートを実施することで、基本目標の達成へ向け

取り組んで参ります。

財政健全化については、令和2年度から開始した会計年度任用職員制度により人件費が増加、また新型コロナウイルス感染症対策への対応として、扶助費や補助費も増加するなど、財政需要が拡大・多様化しております。更に、次なる大型プロジェクトである給食センター建設も始まりました。

そのような中ではありますが、今後も、ポストコロナを見据えつつ、これまでの施策の再点検と徹底した無駄の排除を実施し、「地方創生と財政健全化をバランスよく推進できる持続可能な財政運営」に努めて参ります。

II. 令和2年度主要施策の成果に関する調べ

※施政方針に掲げた施策に関する報告

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健福祉係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	我が事・丸ごと支え愛事業(包括的支援体制構築事業)		
施策の目的	本町は行政区が加計呂麻島・請島・与路島の3つの離島を抱え地理的特殊性を持つ行政区となっています。複雑・多様化する地域問題を多機関が情報を共有する事で迅速適切な課題解決が図れる一助になると考え、地域包括支援センター等と連携して推進します。		
具体的な施策内容	地域包括支援センターの総合相談や生活支援コーディネーターが把握する多様な生活ニーズ、社会資源等の情報発信や必要な資源開発、ネットワークの構築を図る。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	8	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	4	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
2	3	報酬				3,091	1	生活困窮者就労準備支援事業				10,736					
3	7.9	職員手当				1,125											
4	1.4	共済費				1,843		一般財源				3,579					
7	8	報償費				10											
8	1.3	旅費				115											
10	1	需用費				116											
11	1	役務費				40											
12	228	委託料				7,975											
計						14,315	計						14,315				

【評価】

●既存の相談支援機関と連携しながら、地域住民の複雑・多様化した生活課題に対応するため多機関協働・多職種協働で、生活課題や地域課題を明らかにしながら、有効的な支援方法の検討など地域の困りごとを支援するネットワークの構築、地域包括ケアの深化を図り地域共生社会体制づくりを推進した。

- ・地域づくり推進会議:1回
- ・相談支援部回 :1回
- ・住まい部会 :1回
- ・研修会 :1回(働く女性の支援に係る研修会)

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健福祉係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域福祉計画の策定		
施策の目的	社会福祉法第107条に規定されている市町村福祉計画に基づき策定。		
具体的な 施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における高齢者福祉、障害者福祉、児童の福祉その他の福祉に関する事項</li> <li>・地域における福祉サービスの適切な促進に関する事項</li> <li>・地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項</li> <li>・地域福祉に関する活動への住民参加の促進に関する事項</li> <li>・包括的な支援体制の整備に関する事項</li> <li>・社会福祉協議会の基盤の整備強化等</li> </ul>		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	3	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額				
2	3		報酬				43	(一般財源)					132				
8	1		費用弁償				89										
			計				132		計				132				

【評価】

●“地域福祉計画策定委員会”を設置したが、コロナウイルス感染拡大防止対策のため、協議会は未実施となった。  
 令和2年度においては、関連する「障害福祉計画」や「老人福祉計画」及び「介護保険事業計画」等の見直しの時期であった為、障害者や高齢者など地域の実情を見据えながら、本計画については、令和3年度以降に見直しを図り、よりよい福祉計画を策定したい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	地域支援係
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	介護保健事業特別会計
事業名	地域包括ケアシステムの構築		
施策の目的	<p>・多職種にて事例の検討を行うことなどを通じて、適切なサービスが提供されるように支援し、重度化防止や自立支援につながるケアマネジメントを深められるように支援すると同時に住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように医療・介護・福祉連携ネットワークを構築し、地域課題や有効な支援方法を明らかにしながら多機関協働・多職種協働による地域包括ケアシステムの深化を図る。</p>		
具体的な施策内容	<p>・町内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー、地域包括支援センター、医療機関、保健師、管理栄養士、認定調査員、事業所のケアマネジャー、保険者等の多機関・多職種が毎月1回定期的に会議を開催し、処遇困難事例の検討やケアマネジメントの研修・情報交換を図り適切なサービスの提供や連携が図れるようにネットワークの構築、地域包括ケアシステムの深化を図る。</p>		

【経費内訳】

款	5	項	2	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	3	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名								
7		報償費			102			1	地域支援事業交付金(国)			219					
8		旅費			129				地域支援事業交付金(県)			128					
10		需用費			244				地域支援事業(町負担金)			128					
計					475			計					475				

【評価】

●多機関・多職種が毎月1回定期的にケア会議を開催し、処遇困難事例の検討やケアマネジメントの研修・情報交換を図り適切なサービスの提供や連携が図れるようにネットワークの構築を図る。

- ・地域ケア会議:9回  
(事例検討:3回)
- (研修会:6回 「コロナ感染症に係る研修」「感染症防護服着脱訓練」など)

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	地域支援係
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	介護保健事業特別会計
事業名	【高齢者の社会参加の促進と充実】 地域介護予防活動支援事業(元気高齢者得トクポイント事業)		
施策の目的	・地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら要介護状態にならない為の健康づくりや介護予防活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防の知識の普及や活動の支援を行う。		
具体的な施策内容	・介護認定を受けていない高齢者が、自ら行う健康づくり(検診の受診を含む)や介護予防活動、地域の支えてとしての社会参加活動に対してポイントを付与し、元気づくりや介護予防、生きがいづくり、地域を豊かにする地域づくりの取り組みを推進する。		

【経費内訳】

款	5	項	1	目	2	事業	2	款	5	項	2	目	3	節	1	1
(単位:千円)								(単位:千円)								
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額				
7		報償費				1,776	1	高齢者元気度アップポイント事業補助金				1,002				
10		需用費				24	1	地域支援事業(町負担金)				798				
		計				1,800		計				1,800				

【評価】

●高齢者が自ら行う健康づくり、介護予防活動に対してポイントを付与し、地域商品券と交換することで、介護予防教室への参加促進や健康づくり(健診の受診)へ意識づくりが広がっている。  
また、介護給付費の抑制や地域商品券への交換により地域経済へも還元でき、地域経済への活性化にも貢献できていると考えている。

★参加者延べ人数:1419名 ポイント交換者数:649名(商品券:3552枚)



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町老人クラブ育成事業		
施策の目的	老人クラブ連合会の活動(各種イベントのサポート,事務処理等)を支援し,地域活性化を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ助成事業:30人以上30,000円*19クラブ+30人未満20,000円*7クラブ=710,000円</li> <li>・老人クラブ連合会助成事業:基礎額380,000円+10,000円*26クラブ=640,000円</li> <li>合計:1,350,000円</li> </ul>		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				1,350	1	老人クラブ育成事業費補助金				794					
								(一般財源)				556					
計						1,350	計						1,350				

【評価】

●老人クラブの活動を支援し,地域活性化を図ることができた。  
 会員数増を目指し,引き続き支援を行う。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町高齢者無料乗車・乗船資格者証交付事業		
施策の目的	町内の公共交通機関における無料乗車・乗船資格者証の交付により高齢者の外出機会を増やし、介護予防・健康増進を促進する。		
具体的な施策内容	対象:80歳～ ・フェリーかけるま:2,868,120円 ・せとなみ:764,490円 ・加計呂麻バス:1,752,900円 ・南部交通:5,309,590円 ・海勝丸:20,400円 合計:10,715,500円		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	4	高齢者無料乗車・乗船券交付事業				10,716	2	(過疎債ソフト分)高齢者無料乗車・乗船券交付事業				8,400					
								(一般財源)				2,316					
計						10,716	計						10,716				

【評価】

●高齢者の外出機会を増やし、介護予防・健康増進を促進できた。  
 高齢者に適した情報ツールを利用し周知を図ることで、年間発券数を維持していく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町シルバー人材センター運営費補助事業		
施策の目的	高齢者の就業を促進することにより、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、その家族や地域社会に活力を生み出し、ひいては地域社会の活性化につながる。		
具体的な施策内容	地域社会に密着した「臨時的かつ短期的」な仕事を家庭、事業所、官公庁等から引き受け、これを加入している会員へ、その希望や能力に応じて斡旋するシルバー人材センターに対し、運営費を補助する。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				3,200	4	(過疎債ソフト分)シルバー人材センター運営費補助事業				3,200					
計						3,200	計						3,200				

【評価】

●会員数59人で、合計148件23,714,944円を受託。延べ377人の方が従事され、配分金として総額22,899,828円を支出。  
 高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会の活性化につながった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	医事・庶務係
----	-------	----	--------

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	地域医療連携推進法人アンマとの連携		
施策の目的	奄美大島南部町村(宇検村・瀬戸内町)において、安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築を実現できる医療連携推進法人を推進する。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の確保</li> <li>・医療供給体制の整備</li> <li>・産科医療の提供</li> <li>・健康増進及び医療に関する啓蒙活動</li> </ul>		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	4	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
18		負担金				2,346			1	一般会計繰入金				2,346			
		計				2,346				計				2,346			

【評価】

- 県立大島病院・名瀬徳洲会病院と連携を図り専門医による妊婦健診を行った。(6回)
- 看護師共同研修事業を実施し個々のスキルアップに努めた。(オンライン)
- 月1回の運営協議会をとおして相互の情報共有を行った。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	医事・庶務係
----	-------	----	--------

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	【へき地診療所の収支改善について】離島・へき地医療従事医師養成事業		
施策の目的	地域の医療・介護機関の連携の在り方を考える。このためには現状施設の耐久性等を見極め長寿命化計画を策定する。また、現状の経営診断等を行い適切な運営・経営改善を行う。		
具体的な施策内容	・施設延命計画策定や施設経営改善対策を実施し現状の施設状況及び今後の施設運営の在り方を策定する。		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	3	(単位:千円)	款	8	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	30	施設経営改善対策				3,355	1	地方創生臨時交付金				6,490					
	31	施設延命計画策定				2,640											
	32	防水設計				495											
		計				6,490		計				6,490					

【評価】

●地方創生臨時交付金を活用し、経営改善計画・施設延命計画を策定した。今後、へき地診療所運営委員会や地域医療連携推進法人アンマの運営協議会においてへき地診療所の在り方を見直し収支改善に努めたい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健予防係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域出産支援事業		
施策の目的	町内加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため各離島から奄美大島本島までの一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	加計呂麻島・与路島・請島から古仁屋港までの船代及び宿泊費を助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	3	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	003 離島地域出産支援事業費補助金				182	3	003 離島地域出産支援事業費補助金				61					
								(一般財源)				121					
計						182	計						182				

【評価】

●本事業の実施により、町内の離島(加計呂麻島・請島・与路島)に居住している経済的負担の軽減により、少子化対策が図られた。

(交通費)

実人員:7名

助成額:132,700円

(宿泊費)

実人員:2名

助成額:49,200円

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健予防係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦健康診査交通費等支援事業		
施策の目的	町内に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため必要な交通費等の一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	妊婦健診を受診する際の交通費及び宿泊費を助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	113	妊婦健診受診交通費等支援事業				1,550	(一般財源)					1,550					
計						1,550	計							1,550			

【評価】

●妊婦世帯の経済的負担の軽減を図ることで、子育て環境の満足度向上に資する施策として実施した。今後も、少子化対策への切れ目のない支援の一つとして取り組んでいく

(交通費)

実人員:74名 助成額:1,544,000円

(宿泊費)

実人員:2名 助成額: 6,000円





令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健予防係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	相談支援(ママのほっとサロン)		
施策の目的	身近に相談できるものがないなど、支援を受けることが適当と判断される妊産婦及び家族に対し相談支援・情報提供・助言その他の支援を行う。		
具体的な施策内容	町内在住の妊婦さんと先輩ママ(およそ生後6ヶ月までのお子さんのある方)との交流会を実施し、妊娠・子育てへの「不安を解消する。 毎月第4水曜日9:00～11:30		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	80	子育て支援報償費				72	11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				36					
								(一般財源)				36					
		計				72		計				72					

【評価】

●この事業を行うことで、先輩ママとの情報交換により、初めての妊娠、初めての子育てにおける不安の解消に努めることができた。

実施回数:9回  
延べ人数:55人

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課
----	-------

係名	保健予防係
----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	産後ケア事業		
施策の目的	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とする。		
具体的な施策内容	母子の居宅を訪問し、母体の心身ケア、乳児ケアを実施するとともに育児指導を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	225	産後ケア業務委託料				312	11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				156					
								(一般財源)				156					
計						312	計						312				

【評価】

- 本事業の実施により、母体の心身ケア、乳児ケアを行い、安心して子育てを行う環境づくりができた。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	児童母子係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	利用料無償化事業		
施策の目的	生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や子育て教育に係る費用負担の軽減を図る少子化対策の観点などから3歳～5歳(小学校就学前まで)の子どもおよび町民税非課税世帯の0歳～2歳の子どもを対象に幼児教育・保育の無償化実施します。		
具体的な施策内容	0歳～2歳 7人 3歳～5歳 60人		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

【評価】

●本事業の実施により、町の将来の活力を支えていく児童の健全育成及び家庭生活の安定が図ることができた。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	児童母子係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子ども医療費助成事業		
施策の目的	中学3年生までの児童・生徒を対象に、窓口での個人負担分を助成することにより子育て世帯の負担軽減を図り、健康の保持推進を図る。乳幼児の疾病の早期発見と早期治療を促進し、乳幼児の健康の保持増進を図るため、乳幼児の保健診療に係る医療費の一部を助成する。		
具体的な施策内容	乳幼児医療費助成金 9,873,596円 児童・生徒医療費助成金 5,096,150円 乳幼児医療給付事業助成 1,098,864円 【登録者】乳幼児医療費助成 438人 児童・生徒医療費助成463人 乳幼児医療給付事業助成 55人 合計956人 【延べ件数】乳幼児医療費助成 4,455件 児童・生徒医療費助成2,668件 乳幼児医療給付事業助成 584件 合計 7,707件 ※地方債は過疎ソフト債		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	11 50 51	扶助費				16,068	2 8	県支支出金				3,318					
							2 3	地方債				9,400					
								(一般財源)				3,350					
		計				16,068		計				16,068					

【評価】

●窓口での個人負担分を助成することにより子育て世帯の負担軽減を図り、健康の保持推進を図ることができた。







令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	児童母子係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域活性化定住促進事業(出産祝金支給事業)		
施策の目的	本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。		
具体的な施策内容	50,000円×77名=3,850,000円 ※地方債は過疎ソフト債		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	34	扶助費				3,850	4	地方債				3,000					
								(一般財源)				850					
		計				3,850		計				3,850					

【評価】

●本事業の実施により、町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	児童母子係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域活性化定住促進事業(入学祝金支給事業)		
施策の目的	小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。		
具体的な施策内容	小学校入学 50,000円×71人=3,550,000円 高校入学 50,000円×25人=1,250,000円 合計 4,800,000円 ※地方債は過疎ソフ債		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	34	扶助費				4,800	4	地方債				3,000					
								(一般財源)				1,800					
計						4,800	計						4,800				

【評価】

●本事業の実施により、町の将来の活力を支えていく児童・生徒の健全育成及び家庭生活の安定が図ることができた。





令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	予防係
----	-------	----	-----

会計区分	特別会計	会計名	巡回診療施設特別会計
事業名	離島遠隔医療支援対策事業		
施策の目的	請島・与路島・加計呂麻島等での遠隔診療等を可能とし島民の安心・安全を確保する		
具体的な 施策内容	・iPad等を購入し、遠隔診療を行う 悪天候時や救急対応時に医師が直接診察しなくても看護師を經由して診察できるようにする。		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	4	(単位:千円)	款	8	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細	費目名				金額	細	費目名				金額					
17	3	管理用備品購入費				293	1	地方創生臨時交付金				293					
		計				293		計				293					

【評価】

●医師と看護師・島民をつなぐツールとして今後も活用していきたい。

オンライン診療 1回 遠隔診療 10回

※オンライン診療 遠隔医療のうち、医師-患者間において、情報通信機器を通して、患者の診察及び診断等を行うこと。(今回は、試験的に島の保健室の診療看護師が協力しながら診療の手伝いを行った)

※ここで言う遠隔診療とは、池地・与路・島の保健室の看護師等が情報通信機器を活用し患者の患部等の写真等を医師に見せながら指示を受け処置を行うこと。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保健予防係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	健康増進事業		
施策の目的	健康寿命の延伸と生活の質の向上を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	各種がん検診(胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がん検診)において個別の受診勧奨・再勧奨及びクーポン券の発行(子宮頸がん、乳がん、大腸がん)を行い、がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図る。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	5	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
10	1	消耗品費				4	4		がん検診推進事業費補助金				304				
10	3	印刷製本費				6											
11	1	郵便料				635											
12	10	検診委託料				28											
									(一般財源)				369				
計						673	計						673				

【評価】

●本事業の実施により各種がん検診への受診率増及び受診の意識の向上に努めることができた。  
各種健診(胃がん、子宮がん、肺がん、乳がん、大腸がん検診)

受診勧奨者数:4,106人  
受診再勧奨者数:2,257人  
うち受診者数:1,012人

クーポン券発送

子宮頸がん検診対象者数(21歳):8人 受診者数:0人  
乳がん検診対象者数(41歳):49人 受診者数:14人

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保険給付係
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	国民健康保険特別会計
事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業		
施策の目的	本事業の対象者に対して、個別訪問指導・集団指導を実施し、適切な医療機関への受診勧奨、保健指導を行うことにより治療に結びつけるとともに、腎不全、人口透析への移行を防止する。		
具体的な施策内容	抽出基準を元に対象者の選定を行い、名簿を作成し対象者へ事業参加の案内を行う。参加同意者リストをかかりつけ医へ提示し、かかりつけ医は、保健指導参加同意者への保健指導について、市町村へ保健指導の指示を行う。指示書を元に保健指導実施し、その結果をかかりつけ医へ報告する。		

【経費内訳】

款	4	項	4	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	4	項	1	目	1	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
10		需用費				37	2	特別調整交付金(市町村分)				59					
12		委託料				14											
13		使用料及び賃借料				8											
		計				59		計				59					

【評価】

対象者11名に対して、保健指導(個別)や医療機関の受診勧奨を実施し、糖尿病の改善が見られた。今後も、新規対象者に対して継続的に事業を実施していく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	保健福祉課	係名	保険給付係
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	後期高齢者医療事業特別会計
事業名	保健事業と介護予防の一体的実施事業		
施策の目的	瀬戸内町の健康課題を踏まえて、国民健康保険事業や介護保険制度の地域支援事業等の一体的な実施によるフレイル対策や疾病予防・重症化予防の取組の推進を図ること等を通じ、瀬戸内町の住民の健康寿命の延伸を図る。		
具体的な施策内容	企画調整を行う保健師を配属し、保険給付係(国民健康保険事業及び後期高齢者医療制度保健事業所管)、保健予防係(健康づくり所管)、地域支援係(地域包括・介護予防所管)、介護福祉係(介護予防所管)が情報や課題、既存事業や資源等を情報共有し事業の調整推進に取り組む。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

【評価】

一体的実施に係る事業の基本的方針及び実施計画等を作成した。また、充実した事業実施に向けて、庁内の連携体制の構築を図った。





令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教育委員会総務課	係名	給食センター係
----	----------	----	---------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【新給食センターの建設】 給食センター建替事業		
施策の目的	当施設は、昭和54年に学校給食センターとして開設され本年度で41年が経過し、施設本体及び機械設備が著しく老朽化し、衛生面等に配慮し児童生徒が安全で安心できる給食の提供するために早急な整備を目的とする。		
具体的な施策内容	本年度は、給食センター建替事業に伴う実施設計(19,800千円)を委託した。		

【経費内訳】

款	10	項	6	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳						
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額		
12	75	実施設計委託料				19,800		一般財源				19,800		
計						19,800	計						19,800	

【評価】

●本事業の実施により、「学校給食衛生管理基準」・「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基準を満たしHACCPの概念を遵守した施設となり児童生徒が安全で安心できる給食の提供が図られる。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【学習環境の構築】 学校情報通信ネットワーク環境整備事業業務委託		
施策の目的	多様な子ども達を誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために、児童生徒1人1台端末を前提とした高速大容量の通信ネットワークを整備する。		
具体的な施策内容	GIGAスクール構想の実現に向けた校内通信ネットワーク整備事業により、校内LAN整備、電源キャビネット等を整備する。		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	31	事業	1	(単位:千円)	款	14 20	項	2 1	目	7 8	節	1 2 1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
12	325	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備業務委託				97,460	9	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金				48,730					
							20	ネットワーク整備事業				48,700					
								(一般財源)				30					
計						97,460	計						97,460				

【評価】

●学校における高速大容量のネットワーク環境(校内LAN)の整備により、全生徒が授業等で活用してもストレスなく行うことができる。





令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成】 外国青年招致事業		
施策の目的	外国語を母国とする外国語指導助手(ALT)を2名配置することにより、児童・生徒の英語発音や国際理解の向上を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT2名配置。</li> <li>・各小・中学校、幼稚園訪問。</li> </ul>		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	3	事業	1	款	項	目	節	(単位:千円)	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
1	33	報酬				7,320		(一般財源)					9,031
4	4	共済費				1,021							
8	8	旅費				77							
10	10	需用費				30							
13	13	使用料及び賃借料				351							
18	18	負担金、補助及び交付金				232							
計						9,031	計						9,031

【評価】

●ALTを2名配置することにより、各小中学校の児童生徒と触れ合い、子ども達の外国語への関心を持たす機会が増えた。  
 夏季休業中に小学校5・6年生を対象とした瀬戸内イングリッシュテイキャンプを実施し、外国語に触れる機会を増やすことができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【かけろま留学制度や与路小中学校留学里親制度】 留学児童扶助		
施策の目的	本町の学校教育の振興と充実に期するため、町外に住む家族等が町内小学校(古仁屋小, 阿木名小除く)へ転入し、自然豊かな南国の島で地域の人々との触れ合いを通して子ども達の豊かな人間性を育み、学校及び地域の活性化を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●にほんの里・加計呂麻留学制度 転入学する児童に1人当たり30,000円を中学校卒業月まで支給する。留学認定月から1年間は、家賃の1/2(上限11,000円)を助成する。</li> <li>●与路小・中学校留学里親制度 転入する児童1人当たり月50,000円を1年間助成する。(継続可)</li> </ul>		

【経費内訳】

款	10	項	2	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	8	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	25	留学児童扶助				10,120	3	(奄振)留学支援事業費補助金				6,498					
	26	留学児童住宅扶助				711											
								(一般財源)				4,333					
計						10,831	計						10,831				

【評価】

●令和元年度25名、令和2年度27名、令和3年度21名の留学生在籍しており年々増加傾向にあったが、令和3年度は、中学への進級により、若干減少した。留学に対する問い合わせや体験希望者はいるが、住居の問題で実現できないのが現状である。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【かけろま留学制度や与路小中学校留学里親制度】 留學生徒扶助		
施策の目的	本町の学校教育の振興と充実に期するため、町外に住む家族等が町内中学校(古仁屋中, 阿木名中除く)へ転入し、自然豊かな南国の島で地域の人々との触れ合いを通して子ども達の豊かな人間性を育み、学校及び地域の活性化を図る。		
具体的な施策内容	●にはんの里・加計呂麻留学制度 転入学する生徒に1人当たり30,000円を中学校卒業月まで支給する。留学認定月から1年間は、家賃の1/2(上限11,000円)を助成する。		

【経費内訳】

款	10	項	3	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	8	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
19	27	留學生徒扶助				4,510	3		(奄振)留学支援事業費補助金				2,706				
									(一般財源)				1,804				
		計				4,510			計				4,510				

【評価】

●令和元年度11名、令和2年度12名、令和3年度15名の留學生が在籍しており年々増加傾向にある。  
今年度増加した要因は、小学6年生が中学に進級したことによるものである。そのため、小学生の在籍人数は、減少している。今後、留學生の増加を考えるならば、住居問題が課題である。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	スクールバス運営費		
施策の目的	瀬戸内町立加計呂麻地区の小学校及び中学校における児童生徒の通学の便益と安全を図り、学校教育の円滑な推進に資するため、スクールバスを運行する。		
具体的な施策内容	・加計呂麻島の西方地区の児童・生徒(伊子茂小・中学校に通う生徒)が主に利用。(往路 11名利用 復路2便 15名利用) ・通学以外に集合学習等の利用や災害・事故等で公益上緊急の必要がある場合も利用できるとする。		

【経費内訳】

款	10	項	3	目	3	事業	1	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名							
10	325	需用費				728			(一般財源)				3,786			
11		役務費				26										
12		委託料				3,000										
13		使用料及び賃借料				20										
26		公課費				12										
計						3,786		計						3,786		

【評価】

●スクールバスの運行により、児童・生徒の通学時の安全確保や保護者の負担軽減に繋がる。また、学校行事や集合学習等の移動にも活用している。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	学校存続推進委員会補助金		
施策の目的	少子化に伴い児童・生徒数が減少している小・中学校の存続・活性化活動に対する補助。また、校区民の絆づくりと交流の促進をとおして、地域と一体化した教育の風土を維持増進し、親子留学の受入の広報や環境整備を推進することを目的とする。		
具体的な施策内容	少子化に伴い児童・生徒数が減少している小・中学校の存続・活性化活動に対する補助。現在、与路小中学校・嘉鉄小学校・西阿室小学校の3校区に、主に事務費・情報発信費・親子留学受入費として補助。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	2	事業	1	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名							
18	106	与路小中学校存続推進委員会				20		(一般財源)					60			
	158	嘉鉄小学校存続推進委員会				20										
	169	西阿室小学校存続推進委員会				20										
		計				60			計				60			

【評価】

●各学校存続委員会を中心に、児童・生徒確保に向けた住宅確保や校区内への報告等学校存続の気運を高めることができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	古仁屋高校生徒が、学校生活以外でも活躍し、地域住民と交流することによって、地域住民に古仁屋高校の必要性を再確認していただき、町内小中学生及び町外に対してもアピールし、生徒数の増加及び維持を図る目的である。		
具体的な施策内容	年1回、ポスター作成を行い、古仁屋高校が各小中学校や関係機関へPRとして配布。また、地域活動を積極的に参加していただくことで、町の最高学府として地域貢献活動をしていただくことで振興対策をはかっている。また、学校生活以外での活躍に対し、一部補助等を支出していく。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				172	一般財源					172					
		計				172	計					172					

【評価】

●PR用のポスターについては、例年通り作成できましたが、その他の活動がコロナ禍により実施が困難となり、縮小した形で奉仕活動を1回実施しただけとなった。

●応援団補助は、生徒が学校生活以外で活躍し、地域住民との交流することにより、地域住民に古仁屋高校の存在の必要性を再認識させ、また町内の小中学生や町外に対してPRすることが目的の一つでもある。町と高校で制度の在り方について再度確認し、学校生活以外で活躍している生徒に対し、補助をしていけるよう努力しなければならないと考える。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(男子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーション能力を学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	・寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事が食べられる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し、1日2回(朝・夜)の食事を業務委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	5	事業	1	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
10		需用費				9,782		一般財源				20,405	
11		役務費				132							
12		委託料				10,311							
13		使用料及び賃借料				33							
17		備品購入費				96							
18		負担金、補助金及び交付金				51							
		計				20,405		計				20,405	

【評価】

・31年度より開寮した男子寮であるが、予定人数通りに受け入れることが出来た。来年度以降も、各学年毎にバランスの取れた受け入れを進めていくこととする。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(女子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーション能力を学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	・寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事が食べられる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10		需用費				1,497		一般財源				7,436					
11		役務費				232											
12		委託料				3,342											
13		使用料及び賃借料				0											
17		備品購入費				2,365											
18		負担金、補助金及び交付金				0											
		計				7,436		計				7,436					

【評価】

・今年度より女子寮が開寮し、予定人数通りに受け入れることが出来た。来年度以降も、各学年毎にバランスの取れた受け入れを進めていくこととする。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊事業(高校コーディネーター)		
施策の目的	古仁屋高等学校の活性化に向け、高校の魅力発信、地域みらい留学制度のPR活動及び地元企業での生徒の体験学習など企画・実施する。また、寮生が寮生活から自主性及び協調性をつけるためのサポートを行いながら、地元の高校生や地域の方々との関わり合いによるコミュニケーション能力を向上させるための活動も行う。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古仁屋高校支援担当(古仁屋高校振興コーディネーター)</li> <li>・生徒募集活動・広報活動(企画立案・資料作成・イベント参加等)</li> <li>・古仁屋高校生徒寮の管理・運営に伴う事務</li> <li>・古仁屋高校活性化事業に伴う事務全般</li> <li>・古仁屋高校生徒寮を住居とした各種活動の展開</li> </ul>		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額	
7		074_地域おこし協力隊報償費				4,800		(一般財源)				6,080	
10		需用費				207							
11		役務費				174							
13		014_家屋借上料				592							
13		使用料及び賃借料(家屋借上料除)				220							
14		備品購入費				62							
26		公課費				25							
計						6,080	計						6,080

【評価】

- 町内中学卒業生の古仁屋高等学校進学率を上げるための計画づくりを行う。
  - ・古仁屋高校生からまちづくりに関わる流れや仕組みづくり
  - ・将来、瀬戸内町に戻り、まちづくりの担い手となる人材の育成
  - ・瀬戸内町内外への情報発信により、2学級復活が認められるための生徒数の増加
  - ・古仁屋高校だからできること、古仁屋高校でしか学べないことの創造

よみ → 今後の見込み... 町内教育サポート

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	きゅら島交流館
----	-------	----	---------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	第15回子ども島口・伝統芸能大会		
施策の目的	子どもたちがこの大会に参加することによって、現在、失われつつある島口・伝統芸能の普及と、島口を使わなくなった子どもたちに、身近に感じる機会を設けるとともに、地域の人々との触れ合いの中で、シマの素晴らしい文化や伝統を学び、郷土の関心や誇りを持つ心を育てることを目的に開催する。		
具体的な施策内容	<p>町内の児童生徒が、島口劇や地域に伝わる伝統芸能(三味線、島唄、八月踊り、太鼓)などの発表を行い、参加賞として図書券を贈呈する。</p> <p>(参加対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の小中学校児童・生徒</li> <li>・学校職員、地域子ども会、地域の伝統芸能伝承者</li> </ul> <p>(会場) 瀬戸内町きゅら島交流館1階大ホール</p> <p>(発表内容)</p> <p>島口劇、島唄・三味線 伝統芸能(豊年踊り、太鼓、棒踊り、八月踊り)</p>		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
7		報償費				0		(一般財源)				0					
8		旅費				0											
13		使用料及び賃借料				0											
		計				0		計				0					

【評価】

○令和2年度は計画していた大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	プレ・ゴールデンエイジ		
施策の目的	プレ・ゴールデンエイジとは、約3歳から8歳の年代を指し、ゴールデンエイジと言われる約9歳から11歳の前段階(プレ)であることを意味する。この時期は、体の使い方の基礎が養われる時期で、特定のスポーツではなく、いろいろな動きにチャレンジするのが良いとされている。本町では、4歳から6歳(未就学児)の子ども達に注目し楽しく安全に遊びながら、運動能力の発達を後押しすることを目的とする。		
具体的な施策内容	<p>授業の内容)</p> <p>第1回: 6月25日(金) 開講式・トランポリン(34名参加)</p> <p>第2回: 7月15日(水) リズム遊び(35名参加)</p> <p>第3回: 8月4日(火) 親子で水遊び (プール) (24名参加)</p> <p>第4回: 8月5日(金) 親子で水遊び2 (プール) (17名参加)</p> <p>第5回: 9月18日(金) 基本動作・マット運動等(32名参加)</p> <p>第6回:10月27日(火) 相撲遊び (21名参加)</p> <p>第7回:12月27日(金) ラグビー遊び (26名参加)</p> <p>第8回:12月23日(水) かけっこ遊び 新型コロナ感染拡大防止のため中止</p> <p>第9回: 2月26日(水) ダンス遊び (29名参加)</p> <p>第10回: 3月19日(金) 開講式・コーディネーショントレーニング (30名参加)</p> <p>(年間参加者219名)</p>		

【経費内訳】

款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
7	98	報償費				20			1	プレ・ゴールデンエイジ参加料				62			
7	79	外部講師謝金				55				(一般財源)				13			
		計				75				計				75			

【評価】

●プレ・ゴールデンエイジ(4歳から6歳 未就学児)参加幼児に、遊びの中からいろいろな動きを体験させ、楽しく安全に運動神経を養わせることができた。

また、親子で様々なアクティビティに取り組み、子供の楽しむ姿を目にすることで、親のスポーツへの意識・価値に変化をもたらし、子供の日常生活の中の運動・スポーツの順位づけを高めさせる効果が期待できる。また、子供との運動を通したふれあいの重要性を日常に持ち帰ってもらう。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	図書館
----	-------	----	-----

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ブックスタート事業		
施策の目的	地域社会全体で子どもの健全な育成と子育て支援のために、赤ちゃんと保護者に絵本を贈り、その楽しさを伝える。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の7ヶ月健診時に、一人一人の赤ちゃんに読み聞かせをして絵本を手渡す。</li> <li>・年6回、ブックスタート事業の赤ちゃんを対象とした「小さい子のおはなし会」を開催する。</li> </ul>		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
10	001	消耗品費				114			(一般財源)					114			
計						114			計						114		

【評価】

●「小さい子のおはなし会」を年6回計画していたが3回はコロナで中止となった。残りの3回のおはなし会へ、44名の親子の参加があり、赤ちゃんとできる手遊び歌や読み聞かせをすることで、おはなし会の後絵本を借りたり、その後も図書館へ来る人が増えた。今後も多くの親子がおはなし会へ参加してもらえるように広報を工夫していきたい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	埋蔵文化財調査費		
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整を行うのみでなく、郷土教育や観光にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。		
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、近代遺跡(戦争遺跡等)については、国庫補助事業を活用して調査を実施しており、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討に努めている。令和2年度は、これまでの調査成果の整理を行い、調査成果を活かした講座等を実施した。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	4	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1-3		報酬・手当				2,683	1	文化財保護事業補助金(国庫補助分)				4,322					
4		共済費				401	1	文化財保護事業補助金(県補助分)				229					
7		報償費				60											
8		旅費				906		(一般財源)				4,967					
10		需用費				403											
12		委託料				4,886											
13		使用料及び賃借料				179											
計						9,518	計						9,518				

【評価】

●埋蔵文化財に係わる開発協議及び手順が周知されるようになってきたため、埋蔵文化財の保護と開発事業の円滑な調整が適切に行われるようになってきている。  
補助事業等調査で得られた成果については、報告書を作成するための資料整理を実施した。報告書は、令和3年度に刊行予定である。  
遺跡の活用事例は、新型コロナウイルス感染症の影響により、島外者の調査や案内は減少した。しかし、島内の学校や島民の近代遺跡(戦争遺跡等)を活用した平和教育利用が増加(6件約130人)した。  
令和3年度以降は、世界自然遺産登録や報告書刊行の影響により、埋蔵文化財活用事例の増加が見込まれる。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	家庭教育研修会		
施策の目的	家庭教育・しつけにかかわる講話や人権教育に対する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の充実を図る。		
具体的な施策内容	人権教育に関すること子育てに関すること・郷土教育に関する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の活性化を図る		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

【評価】

家庭教育やしつけ人権問題について知識を深める機会を設けていく必要がある。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	就学前の子どもをもつ保護者に子育て学習講座を実施		
施策の目的	小学校入学前の子どもを持つ全ての親が参加する就学時健康診断の機会を利用して、子供たちに「生きる力」の基礎的な資質や能力(あいさつ等の基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断、社会的マナー、自制心や自立心など)を育むための家庭教育の在り方について考える機会を提供することにより、家庭の教育力再生を図る。		
具体的な施策内容	令和2年度は、瀬戸内町教育委員会 指導主事である川原園 達司先生に「人権教育について」のテーマで、人権教育・人権感覚・いじめ問題等について講演をしていただいた。 就学時健康診断66名の保護者のうち54名の方が受講され、「人権について考えさせられた・子供も親も人権感覚を高める必要がある・親も子供も共に成長していくことの大切さをもう一度親子で確認していく」など様々な意見が寄せられ人権問題についての考える時間を提供できた。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	82	各種講座託児謝金				20		(一般財源)				20					
		計				20		計				20					

【評価】

講演を通して、小学校に入学する子供たちの保護者に、安心して入学させることの手助けを行うことができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美大島5市町村合同イン・リーダー研修会		
施策の目的	講義や体験活動を通して、子供会活動の中で必要とされるリーダーシップや、危機回避能力を身につける。また、さまざまな地区の異年齢の仲間と活動を共有することで、子ども会の楽しさや喜びを感じながら、社会の一員として必要な知識、技能及び態度を学ぶ。		
具体的な施策内容	単位子ども会に属する小学校5年生～中学3年生までの児童生徒 参加費5000円（瀬戸内町が町内児童生徒の参加費は全額補助） 2泊3日の日程で災害時の応急処置法や、危険予知トレーニング研修、炊き出し体験、テント組み立て方等の実技等の研修		

【経費内訳】

款	15	項	1	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	60	研修会参加費				0		(一般財源)				0					
計						0	計						0				

【評価】

インリーダー研修では、防災キャンプを実施しているが、環境が整いすぎている場面もあるので、更に避難所生活を想定した環境作りや意識づけをするひつようがある。  
令和2年度奄美大島5市町村合同インリーダー研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため中止。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	社会教育課	係名	生涯学習係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	清水公園施設整備		
施策の目的	清水公園施設の老朽化が著しく進行しており、快適で安全・安心してスポーツを親しむ環境が十分整っていない状況となっていることから、各施設の修繕更新などのリニューアルを行い、利用者のニーズに対応した施設を整備し、利用向上の促進や健康増進等に繋げることを目的とする。		
具体的な施策内容	パブリックコメント(ご意見)募集 募集期間：令和2年3月16日(月)～令和2年4月15日(水)まで 募集対象者：町民 閲覧場所：町ホームページ・教育委員会社会教育課・きゅら島交流館・図書館・清水体育館		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

【評価】

●清水地区文化スポーツ村(仮称)建設検討委員会において、利用者のニーズに対応した施設の整備を進めるため幅広い観点から検討を行っている。今回、基本構想(案)に対する町民のご意見を反映させるためパブリックコメントを実施し、町民から12件のご意見を伺うことができた。今後とも多くの方々からご意見を聴き調査研究を行い整備を進めていきたい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	企画振興係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域提案型事業(空き家利活用事業)		
施策の目的	集落内にある空き家を改修し、移住希望者等に体験住宅や民泊施設を提供することにより、定住促進と集落活性化を図る仕組みを作ることを目的とする。		
具体的な施策内容	交付金1件あたり1,300千円を上限に、総経費の8/10以内の額を補助。 空き家の改修や民泊等施設への改修費用を助成。 R2においては、瀬武2件・西阿室1件・薩川1件・池地1件(合計5件)の事業活用となった。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
18	002	地域提案型事業				4,515		一般財源				4,515	
		計				4,515		計				4,515	

【評価】

●平成30年度からの事業となり、これまでの実績として、薩川集落 3件・西阿室集落 2件・瀬武集落 2件・池地集落 1件、計8件の空き家を改修し、その全ての住宅で入居が決まるなど、事業活用集落において十分地域活性化に資する事業となっている。  
今後も継続して事業を実施し、空き家対策の展開を拡充し集落の活性化に繋げていきたい。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	建設課	係名	都市整備係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	公営住宅等ストック総合改善事業		
施策の目的	既存の公営住宅については「瀬戸内町公営住宅等長寿命化計画」に基づいて、長寿命化のための中期的な維持管理計画を実践し、建物の劣化を防ぐとともに予防安全の観点から日常的な保全点検や計画修繕等の個別改善事業を実施し、公営住宅の整備を推進します。		
具体的な施策内容	高丘団地ろの6号棟外壁改修工事 ・建設年度:昭和60年 鉄筋コンクリート造5階建て(25戸) ・外壁を補修し、躯体劣化軽減を図るため、優れた仕上げ材で再塗装する。 ・屋上既存防水層を撤去し、下地を補修の上、遮熱塗膜防水を施工する。		

【経費内訳】

款	8	項	6	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	5	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12		実施設計委託料				3,801		(社会資本整備交付金) 公営住宅ストック改善交付金				7,223					
14		工事請負費				40,370											
								一般財源				36,948					
		計				44,171		計				44,171					

【評価】

●予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施することにより、町営住宅の長寿命化を図ることができました。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	老朽危険空家等除去促進事業		
施策の目的	瀬戸内町老朽危険空家等の適正管理に関する条例に基づき、適正に管理されず、防犯・防災上周囲に対して危険性の高い老朽危険空家等除去工事を行う方に対し、その工事に要する費用の一部を補助する目的である		
具体的な施策内容	補助限度額(50万円) ・町の都市計画図で示す古仁屋市街地の商業地域及び近隣商業地域以外の木造建築物 補助限度額(100万円) ・町の都市計画図で示す古仁屋市街地の商業地域及び近隣商業地域以外の非木造建築物 ・町の都市計画図で示す古仁屋市街地の商業地域及び近隣商業地域にある木造及び非木造建築物		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	6	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7		報償費				0		一般財源				4,245					
8		旅費				0											
18		負担金、補助金及び交付金				4,245											
		計				4,245		計				4,245					

【評価】

・瀬戸内町空家等対策協議会については、役員への承諾は得ているものの、コロナ禍により協議会実施には至っていない。国の補助事業(空き家対策総合支援事業)の申請する場合は、協議会設置及び空き家対策計画は必須のため、その内容について協議会で協議することとなっている。今後は、コロナの状況を見ながら協議会開催を実施することとする。

老朽危険空家等の除去については、目標に対し、大幅に実績が出てきた。今後は、町HP等を活用し、老朽危険空家の情報提供を各集落へ呼びかけることとする。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	生活環境係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	合併処理浄化槽設置事業		
施策の目的	本町は、生活排水対策として合併処理浄化槽設置を促進しており海や川などの公共用水域の水質浄化・保全を行うものである。		
具体的な施策内容	<p>★合併処理浄化槽設置費</p> <p>・(5人槽) 11基 3,652千円      ・(7人槽) 4基 1,656千円</p> <p>・(10人槽) 1基 548千円                      計16基 5,856千円①</p> <p>★単独槽撤去費 5基 450千円②</p> <p>★汲み取り便槽撤去費 10基 3,500千円③</p> <p>★宅内配管費 5基 1,500千円④</p> <p style="text-align: right;">事業費総計(①+②+③+④) 11,306千円</p>		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	10	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細	費目名				金額	細	費目名									
18	002	負担金・補助及び交付金				11,306	001	国庫支出金				4,707					
							001	県支出金				1,868					
								一般財源				4,731					
計						11,306	計						11,306				

【評価】

●平成31年度(令和元年度)と令和2年度を比較して汚水処理普及率が1.16%向上した。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	町民生活課	係名	生活環境係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	【コミュニティプラント等の整備】浄化槽整備効率化事業(生活排水処理基本計画策定業務)		
施策の目的	本町は、生活排水対策として合併処理浄化槽設置を促進しているが、家の立地によって合併処理浄化槽の設置が困難な場所がある。エリアによって生活排水を処理するコミュニティプラントを導入すべく生活排水処理基本計画を改定するための基礎調査を行った。		
具体的な施策内容	令和2年度生活排水処理基本計画基礎調査業務委託 2,255千円		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	10	事業	1	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額	
12	002	委託料				2,255		一般財源				2,255	
		計				2,255		計				2,255	

【評価】

●令和3年度改定する生活排水処理基本計画の基礎資料となった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	農林課	係名	農林整備係
----	-----	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	農業集落排水事業特別会計
事業名	農業集落排水処理施設		
施策の目的	処理施設の機能維持及び改善を図る。		
具体的な施策内容	補助金は 国60%、県16.95%、町23.05% ポンプ類や自動微細目スクリーン等を更新して施設の老朽化を改善した。		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	2	6	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名									
12	10	機能強化事業(設計・積算)業務委託				2,860		1	機能強化事業費交付金				16,190					
14	1	工事請負費				18,180		1	機能強化事業設備工事				4,800					
									(一般財源)				50					
		計				21,040			計				21,040					

【評価】

- 令和2年より事業実施している。  
財源は国60%、町40%が標準である。  
令和3年度はスクリーンユニット、令和4年度に制御盤等の更新を行い、処理施設の老朽化を改善する。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	商工交通課	係名	船舶交通係
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	船舶交通事業特別会計
事業名	町営船「せとなみ」の代替船建造事業		
施策の目的	町営船「せとなみ」の代替船建造に向け、最も利用されている請島・与路島の方々へ、新造船に関するアンケートを実施。		
具体的な施策内容	島民にアンケートを実施		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

【評価】

- アンケート結果は、町ホームページにて公表を行っている。  
 今後は県交通政策課へ航路改善計画を提出し、新船せとなみ建造を行ってまいります。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	水道課	係名	施設係
----	-----	----	-----

会計区分	特別会計	会計名	簡易水道事業特別会計
事業名	請島地区簡易水道整備事業		
施策の目的	池地浄水場を基幹浄水場とし、請阿室地区の配水池へ連絡管を整備することによって、請阿室地区の水源枯渇問題を解決し、遠隔監視システムを整備することにより施設の有機的一体化と事業経営及び管理の一元化を図る。		
具体的な施策内容	取水堰改良 一式 送水ポンプ室築造 一式 電気計装設備 一式 送水管布設 L=555m 配水管布設 L=633m		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
1	1	会計年度任用職員報酬				496				請島地区簡易水道事業費補助金				50,800			
4	1	社会保険料				74				請島地区簡易水道事業債				50,800			
8	1	普通旅費				91											
10	1	消耗品費				23											
12	4	簡易水道事業実施設計委託料				5,390											
13	1	車両船舶借上料				181											
14	9	請島簡易水道工事請負費				95,345											
計						101,600			計						101,600		

【評価】

●令和元年度から令和5年度までの5カ年計画の事業である。引続き事業を実施し、請島地区に正常な給水を行い、地域住民の生活用水に対する不安の解消及び住民生活の質の向上を図る。



令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	水道課	係名	施設係
----	-----	----	-----

会計区分	特別会計	会計名	簡易水道事業特別会計
事業名	特定離島ふるさとおこし推進事業(渡連地区飲用水施設整備)		
施策の目的	渡連地区浄水場から水源池(取水口)までの未舗装の管理道路が、大雨のたびに路肩が徐々に決壊し、管理道路下に布設している導水管破損の恐れがあるため、早急な対策を図る。		
具体的な施策内容	管理道路舗装 L=147.7m ブロック積工 L=35m 排水工 L=100m		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	3	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
14	3	飲用水施設整備				21,800	1	飲用水施設整備事業費補助金				17,440					
								(一般財源)				4,360					
		計				21,800		計				21,800					

【評価】

●事業の実施により、施設の管理及び緊急時迅速に対応でき、地域住民の生活用水に対する不安の解消が図られ、引き続き施設・水質等の管理を徹底する。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	総務課
----	-----

係名	危機管理係
----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	交通安全施設工事		
施策の目的	通学路や生活道路が集中している区域に対して交通事故防止対策を講じるため、諸施策に取り組むことを目的とする。		
具体的な施策内容	劣化した河川沿いの転落防止柵の整備及び交差点へ歩道分離標(ラバーポール)を設置し、生活道路・通学路の交通安全対策を講じた。 屋宮前地区 転落防止柵工 L=45m 丘地区 歩道分離標(ラバーポール)設置工 N=4本 ・古仁 ・古仁屋高		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	10	事業	2	(単位:千円)	款	11	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
14	1	交通安全防護柵				1,449	001	交通安全対策特別交付金				880					
								(一般財源)				569					
計						1,449	計						1,449				

【評価】

●本事業により生活道路・通学路における歩行者及び車両通行の安全が確保された。今後においても、事業を継続し交通安全対策に努めていきたい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	総務課	係名	危機管理係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	防犯灯設置補助事業		
施策の目的	夜間の犯罪防止と青少年の健全育成等のため、防犯灯設置費の一部を補助することを目的とする。		
具体的な施策内容	LED防犯灯を町内17地区(48箇所)に設置した費用の一部を補助した。(17地区、48箇所 補助額699,960円)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	11	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	防犯灯設置事業				700		一般財源				700					
		計				700		計				700					

【評価】

●本事業により、各地区の夜間における犯罪等の未然防止が図られ、青少年の健全育成や住民の安全安心が確保された。今後も、各地区における防犯対策及び安全安心の町づくりの構築に向け、本事業を推進していく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

課名	建設課	係名	工務係
----	-----	----	-----

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	(県単)急傾斜地崩壊対策事業		
施策の目的	町民生活の保全を図るため、集落山裾の急傾斜地危険個所の斜面崩壊対策整備を実施し、集落住民の安全安心な住環境に寄与する目的としている。		
具体的な施策内容	・手安地区 斜面崩壊対策 吹付法砕工A=103m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=27本 排水工L=25m ・古仁屋地区 斜面崩壊対策 土工V=650m <sup>3</sup>		

【経費内訳】

款	8	項	3	目	1	事業	5	(単位:千円)	款	15	項	2	目	6	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
8	3	旅費(普通旅費)				5	1	県単急傾斜地崩壊対策事業補助金				10,000					
13	44	使用料及び賃借料(仮設防護柵賃借料)				100		地方債				10,000					
14	1	028 急傾斜地崩壊対策事業費				20,000		(一般財源)				105					
計						20,105	計						20,105				

【評価】

- 人家に隣接している急傾斜地危険個所の斜面崩壊対策を行ったことにより、地域住民の生命、財産の安定に寄与できた。